

往診代診医師派遣事業

令和5年年12月5日（火）
奥間裕次

当院の紹介。

- ▶ 金武町に在。金武町（11,233人）、2009年（平成21年）開業



当院の業務紹介

診療科：内科、小児科

1) 学校医 金武小学校 保育園 二か所 の園医
就学時検診 等

2) 特別養護老人ホーム光が丘 配置医

コロナワクチン（金武町から委託：毎週火曜日5時～）

訪問診療を開始の理由

- ▶ 1) 外来通院→困難になり往診→訪問診療
- ▶ 2) 基幹病院からの紹介→個人宅（在宅）、集合住宅
▶ 通院困難、継続入院断念（？）
- ▶ 3) 終末期の紹介（がんの終末期、神経疾患、老衰）

- ▶ 地元に戻りたい、住み続けたいという患者さんの希望に沿って

訪問診療先

名護市辺野古	個人宅（在宅）	4人
宜野座村	個人宅（在宅）	3人
	有料老人ホーム	3人
	グループホーム	5人
金武町	個人宅（在宅）	14人
	有料老人ホーム①	34人
	有料老人ホーム②	11人
	グループホーム①～③	7人+7人+4人
	看多機	3人
	計	85人



訪問診療で困った事

1) 県外へ出張、旅行。

解決策

- ▶ これまでは、個人的に繋がり医師の相談。
- ▶ 具体的には、当院の非常勤に登録。
- ▶ 待機代、実際の往診代の支払い。
- ▶ 情報提供は前もってLINEで行っていた。
- ▶ 訪問看護との連携。

訪問診療で困った事

1) 県外へ出張、旅行。

- ・私的なつながりでの困り事。
双方が出張、旅行が重なった場合
→出張、旅行の断念。
- ・一方的なお願いが気まずくなる。

今回頼んだ事。

11月10日（金）～12日（日）3日間

実際の起こった事。

10日の夜に看取り連絡があった。

訪問看護から主治医の自分に連絡。

主治医（自分）から往診担当医師へ連絡

往診担当医師の診察。

訪問看護師の補助あり。

前もって準備した事。

1. 情報集め

診断書記載の恐れがある患者さんの情報集め。

- ① 診断書、訪問看護指示書の確認
- ② 主治医意見書の確認
- ③ 直近の情報提供書（紹介状）の確認

2. 訪問看護との情報共有

まとめ

- 1) 安心して出張、旅行ができた。
- 2) この様な事業が本格化すれば、
過度な重圧での訪問診療が減る。
- 3) 今後は、お願いする側からお願いされる
側に立ちたい。

